

Silicon Graphics 320TM および
Silicon Graphics 540TM
Visual Workstation
ソフトウェアインストールガイド

ドキュメント番号 007-3703-001JPN

制作スタッフ

執筆 : Sandra Rude

制作 : Carlos Miqueo

エンジニアリング : Hiep Nguyen, Shailesh Nalawadi,

Mark Fleisher, Dan Gilson, Simon Zarrin, Ken Klingman, Ray Poquiz

© Copyright 1999, Silicon Graphics, Inc.— All Rights Reserved

このマニュアルの内容は、Silicon Graphics, Inc. の書面による許可なくして、いかなる形式によってもその一部または全部をコピーまたは複製することはできません。

Restricted Rights Legend

Use, duplication, or disclosure of the technical data contained in this document by the Government is subject to restrictions as set forth in subdivision (c) (1) (ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software clause at DFARS 52.227-7013 and/or in similar or successor clauses in the FAR, or in the DOD or NASA FAR Supplement. Unpublished rights reserved under the Copyright Laws of the United States. Contractor/manufacturer is Silicon Graphics, Inc., 2011 N. Shoreline Blvd., Mountain View, CA 94039-7311.

Silicon Graphics, Inc. Mountain View, California

Silicon Graphics は、Silicon Graphics, Inc. の登録商標です。Silicon Graphics のロゴ、Silicon Graphics 320、および Silicon Graphics 540 は、Silicon Graphics, Inc. の登録商標です。CrystalWare は、Cirrus Logic, Inc. の登録商標です。Internet Explorer、Windows、および Windows NT は、Microsoft Corporation の登録商標です。

日本シリコングラフィックス株式会社 エンドユーザ契約書

提供されるソフトウェアをお使いになる前に、本書面をよくお読み下さい。本書面の条項にご同意頂けない場合には、このパッケージを開封せずに速やかにお求めの取扱店にご返却下さい。この場合、支払済の代金をご返金致します。ソフトウェア本体とソフトウェアマニュアル等関連資料（以下併せて、「本ソフトウェア」という）が入ったこのパッケージのシールを破ること又はソフトウェアをお使いになることによって、本書面の条項の拘束を受けることに同意したものと見做されます。本エンドユーザ契約は、お客様（以下「甲」という）と日本シリコングラフィックス株式会社（以下「日本 SGI」という）の間の有効な契約となります。

第 1 条 本ソフトウェアの使用権

日本 SGI は、本ソフトウェアを本ソフトウェアといっしょに供給したシリコングラフィックス社製のワークステーション又はサーバー台（以下「指定機械」という）に限り使用できるかつ非独占的な使用権を甲に付与します。第 4 条に記載されている場合を除き、甲は、いかなる場合にも、サブライセンス、頒布、リース、貸出、又はその他譲渡をすることはできません。甲は、いかなる場合であっても、本契約に明示的に記載されている範囲以外には、本ソフトウェアを使用することはできません。甲は、逆コンパイル、ディスアセンブリー、リバースエンジニアリングその他いかなる方法であるかを問わず、オブジェクトプログラムからソースプログラムの導出あるいは創作を試みないものとします。甲は、本ソフトウェアを含む文書、媒体、容器を処分する前に、本ソフトウェアをかかる文書、媒体、容器から確実に消去するものとします。

第2条 複製に関する制限

甲は、指定機械のハードディスク又は CPU メモリに本ソフトウェアをインストールすることができます。甲は、本契約に基づき使用権を維持する為のバックアップ又は保存に必要な範囲で、本ソフトウェアの全体又は部分を複製することができます。但し、(i)かかる複製物は、すべて本契約の対象である本ソフトウェアと見做されるものとし、(ii)甲は、かかる複製物の全てについて、本ソフトウェアに付されていると同様の原権利者の著作権その他の権利表示及び説明を付するものとします。

第3条 本ソフトウェアの知的所有権

甲は、本ソフトウェア及びその複製物に関する知的財産権が、本契約で付与された使用権を除き、本契約に基づくライセンス付与又は本契約のその他の条項により甲に移転しないことに同意します。本ソフトウェア及びその複製物に関する著作権、特許権、商標権、又は、その他知的所有権は日本 SGI 又はその原権利者に留保されています。

第4条 本ソフトウェアの譲渡等

甲は日本 SGI の書面による事前の承諾なく、第三者に本ソフトウェアを譲渡し、貸与し、またはその他いかなる方法にても処分してはなりません。または、(i)甲が、指定機械に関する所有権を第三者に譲渡し、(ii)本契約により付与されたソフトウェアの権利が、指定機械の譲受人に全て譲渡され、(iii)指定機械の新所有者が、本契約のすべての条項及び条件に書面で合意した場合には、本ソフトウェアを当該新所有者に譲渡することができます。

第5条 輸出規制

甲は、本ソフトウェア又はその直接的産物を米国及び日本国輸出管理規制、及びその他関係法規に違反し、引渡又は輸出してはなりません。

第6条 終了

本契約上の重要な義務の履行を甲が怠った場合、日本 SGI 又はその原権利者は、事前に通知することなく何時でも適切な救済手段を取り、又は本契約を解約して本契約を終了させることができるものとします。本ソフトウェアの原権利者は、本契約の受益者として、その知的財産権に関する本契約の条項を直接甲に強制する権利を保有するものとします。本契約が解約された場合、甲は、その後日以内に、本ソフトウェア（いかなる保管媒体に含まれているかを問わず、ソフトウェア及び全ての関連書類を含む）を全て廃棄するものとします。さらに甲は日本 SGI に権限のある者の署名または記名捺印のある廃棄証明書を交付するものとします。

第7条 保証の否認

日本 SGI は、本ソフトウェアに関しては、明示・黙示を問わず、いかなる種類の保証も行いません。本ソフトウェアは、甲に対し「現状」ベースで提供されます。尚、日本 SGI は、本ソフトウェアの運用上エラーが生じないこと又は本ソフトウェアの欠陥が修正されることを保証致しません。また、日本 SGI の従業員が甲に対して口頭又は書面でいかなる内容のことを告げたとしても、そのような形で新たな内容の保証が約束されることはありません。

第 8 条 責任の限定

日本 SGI 及び本ソフトウェアの原権利者は、いかなる場合も、甲に対し、一切の種類の特例、結果的、付属的又は間接的損害について（逸失利益、データの喪失、代替品の調達費用を含む）責任を負わないものとします。この責任の限定は、日本 SGI が、かかる損失が発生する可能性がある旨の通知を受けていたか否か、損害の原因が契約の違反又は否定、不法行為、保証違反、過失、ソフトウェアの使用不能その他いかなる態様により発生したものであるか否かを問わないものとします。

日本 SGI の責任は、いかなる場合も、本ソフトウェアの対価額を上限とします。

第 9 条 準拠法及び裁判管轄

本契約は日本法に準拠するものとします。本契約に関する紛争は東京地方裁判所をもって第一審の専属管轄裁判所とします。

第 10 条 U. S. GOVERNMENT USERS.

If the SOFTWARE is acquired by or on behalf of an entity of the government of the United States of America, the following provision applies: Pursuant to the policy stated at 48 CFR227.7202-1, U.S. Government users acknowledge that (i) the Software is commercial computer software provided solely with Restricted Rights, as such term is defined in the applicable FAR or FAR supplement, (ii) this Agreement embodies the licenses customarily used by SG for licenses in Software granted to the public, and (iii) the licenses set forth herein shall apply to all possession, use and duplication of the Software by the Government, except to the extent which such licenses are inconsistent with Federal procurement law.

Contractor/manufacture is SILICON GRAPHICS, INC., 2011 N. Shoreline Blvd., Mountain View, CA 94043-1389.

第 11 条 完全合意

本契約は、その目的たる事項に関する合意の全体を構成するもので、口頭または文書による連絡、提案、協定に代替するものです。本契約の修正、変更及び終了は、日本 SGI がその権利を留保するものとします。

日本シリコングラフィックス株式会社

目次

Silicon Graphics Visual Workstation について	1
詳細情報	2
テクニカルサポート	2
Windows NT の初めてのセットアップ	5
Silicon Graphics CD を使用する	10
システムソフトウェアの再インストール	12
はじめに	14
Windows NT の再インストール	15
ドライバと補助アプリケーションの再インストール	20
オプションアプリケーションの再インストール	22
その他のデータとアプリケーションのリストア	23
サービスパックのインストール	24
システムディスクのパーティションを変更する	25
システムコントロールパネルを使用する	27
スタートメニューを使用した Silicon Graphics の 情報の表示	29
システムファームウェアオプションの設定	30
Startup Settings	33
System Settings	37
索引	45

Silicon Graphics Visual Workstation について

Silicon Graphics 320 または Silicon Graphics 540 Visual Workstation に付属している『Installation Poster』（取付説明書）は、接続の手順を説明しています。『オーナーズガイド』は、Visual Workstation の起動とシャットダウン、ハードウェアの追加または交換の方法について説明しています。

このマニュアルでは、Windows NT と Silicon Graphics のシステムソフトウェアを初めて設定する場合と、後に再インストールする場合の手順について説明します。Windows NT および Silicon Graphics のシステムソフトウェアをインストール、再インストール、またはアップグレードする際は、主にこのマニュアルを参照してください。

詳細情報

Windows NT の基本情報については、『ファーストステップガイド』の第 1 部を参照してください。これは、Visual Workstation に付属している Microsoft Windows NT Workstation のマニュアルです。

テクニカルサポート

Silicon Graphics は、広範囲にわたるサポートサービスを提供しています。標準とオプションのサポート保証契約サービスには、オペレーティングシステムのサポートパッケージ、オンサイトメンテナンス、および Supportfolio Visual Workstation が含まれます。これは、よく寄せられる質問に対する回答や、テクニカルサポート情報を検索するためのオンラインツールです。さらに高度なサービスが必要な場合は、トレーニングコースやコンサルティングサービスをご利用いただくこともできます。

これらのサービスに関する詳細は、オンラインでご覧いただけます。アドレスは、<http://www.sgi.com/visual/support> です。

Supportfolio Visual Workstation は、Web を介して技術的な援助を提供します。<http://support.sgi.com/nt> でご覧いただけます。

本製品をご使用になる地域の Silicon Graphics カスタマサポートの連絡先については、次のリストを参照してください。

国名	電話番号
アイルランド	0870-60744744
アメリカ	800-800-4744
アルゼンチン	+31 3465-97201
イギリス(UK)	0870-60744744
イスラエル	1-800-9203088
イタリア	1678-23183
インド	+61(0) 2 6221 6524
インドネシア	001-803-011-2502
オーストラリア	1800-818-549
オーストリア	0800-201705
オランダ	030-669-6700
カナダ	800-800-4744
ギリシャ	00800-12-5137
コロンビア	980-15-4537
スイス(ドイツ語)	0800-804022
スイス(フランス語)	0800-804021
スウェーデン	08-4700090
スペイン	900-234432
タイ	001-800-12-0662980
チリ	1230-020-2327

デンマーク	043-270428
ドイツ	0130 112 550
ニュージーランド	0800-4744-4357
ノルウェー	6711-4601
フィンランド	0-800-1-19629
ブラジル	0008140-550-3510
フランス	01-3488 8888
ベネズエラ	8001-2509
ペルー	+31-3465-97201
ベルギー	02-6790052
マレーシア	1-800-80-3226
メキシコ	52-5-267-1370
韓国	82-2-222-7373
中国	10-800-120-0117
日本	0120 458 901
香港	852-27843136

上記以外の国については、お客様の Silicon Graphics 代理店にお問い合わせください。

Windows NT の初めてのセットアップ

セットアップを容易に行うために、次の情報を収集して各欄に記入してから、作業を始めてください。

Windows プロダクト ID: _____
氏名: _____
組織名: _____
コンピュータ名: _____
ドメイン名またはワークグループ名: _____
ネットワークプロトコル
(TCP/IP、NWLink または NetBEUI) _____

Windows プロダクト ID 番号は 20 桁の数字で、Microsoft のマニュアル『ファーストステップガイド』の表紙に印刷されています。Microsoft のマニュアルでは、プロダクト ID 番号は、「Certificate of Authenticity」番号と呼ばれることもあります。

Visual Workstation を TCP/IP ネットワークに接続する際に、DHCP を使用して IP アドレスの動的割り当てを行わない場合は、以下の追加情報が必要です。

IP アドレス: _____
サブネットマスク: _____
ネットワークのドメイン名: _____
DNS(ドメインネームシステム)
サーバの IP アドレス: _____
WINS(Windows インターネット
ネームサービス)サーバの
IP アドレス: _____

正確なコンピュータ名、ドメイン名、転送プロトコル、または IP アドレスがわからない場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

また、Windows NT の設定手順の最後には、システム修復ディスクを作成するために、空のフロッピーディスクを用意しておく必要があります。

初めて Visual Workstation の電源を入れると、Windows NT のセットアップウィザードが自動的に起動して、ご使用のネットワーク環境に合わせて Windows NT を設定するための手順が順番に表示されます。次の手順に従ってください。

1. Visual Workstation に接続されているモニタやドライブなどの外部周辺機器の電源をすべて入れます。
2. Visual Workstation の本体の電源を入れます。

一連の起動メッセージがモニタに表示されます。Windows NT のセットアップウィザードの起動画面が表示されて、情報を入力するよう要求されます。

3. セットアップウィザードの指示に従います。ユーザ固有またはサイト固有の情報やオプションの入力が必要なフィールド以外は、セットアップウィザードのデフォルト値を使用してください。
4. ハードディスクドライブにファイルがコピーされると、セットアップウィザードに進行状況を示すメッセージが表示されます。
5. [地域設定] 画面、[キーボード設定] 画面、および [日付と時刻] 画面では、セットアップウィザードの指示に従います。続いて、セットアップウィザードは、Internet Explorer をインストールします。

6. ハードディスクドライブにファイルがコピーされ、一時ファイルが削除されて、設定情報が保存されると、セットアップウィザードに進行状況を示すメッセージが表示されます。これらの処理には数分かかります。処理が終了すると、Visual Workstation が再起動されます。
7. ログインダイアログボックスから、Administrator としてログインします。デフォルトでは、Administrator アカウントのパスワードは必要ありません。

[Windows NT へようこそ]画面が表示され、Internet Explorer がセットアップされます。この処理には数分かかります。
8. セットアップ処理が終了して、Windows NT のデスクトップが表示されたら、フロッピーディスクドライブ (通常は A:) に空のフロッピーディスクを挿入します。
9. [スタート] [ファイル名を指定して実行] を選択します。[ファイル名を指定して実行]ダイアログボックスにコマンド **rdisk** を入力して、[OK] をクリックします。
10. [修復ディスクユーティリティ]ダイアログボックスで、[修復ディスクの作成] をクリックします。

11. 修復ディスクの作成が終了したら、ドライブからフロッピーディスクを取り出して適切なラベルを貼り、安全な場所に保管します。

修復ディスクには、ご使用のネットワーク環境に合わせてWindows NTをカスタマイズするための情報など、重要な Windows NT システムファイルの圧縮コピーがいくつか入っています。ハードディスクの内容が損傷した場合には、この修復ディスクを使用して、Visual Workstation のオペレーティングシステムを修復できます。

Visual Workstation にソフトウェアをインストールしたり、または設定を変更するたびに、システム修復ディスクを新しく作成してください。これによって、修復ディスクに最新の情報と設定を確実に保存しておくことができます。

Silicon Graphics CD を使用する

Silicon Graphics Visual Workstation CD セットは、システムソフトウェアを再インストールする際に必要となります。また、CD に入っているオプションのアプリケーションをインストールすることもできます。Windows NT およびシステムソフトウェアを初めてセットアップする際には、Silicon Graphics Visual Workstation CD セットは必要ありません。

注： Visual Workstation で使用できるシステムソフトウェアは、Silicon Graphics Visual Workstation CD セットにのみ含まれています。他のコンピュータベンダまたは Microsoft の Windows NT システムソフトウェアを Visual Workstation にインストールしても、正しく動作しません。Windows NT サービスパックや修正モジュールも、Silicon Graphics から入手する必要があります。

この CD セットには、次の CD が入っています。

- リカバリー CD 1 とリカバリー CD 2 には、Windows NT のシステムソフトウェア、Silicon Graphics のカスタムドライバなどの必須アプリケーションが入っています。システムソフトウェアを再インストールする場合は、これらの CD を使用してください。詳細については、12 ページの「システムソフトウェアの再インストール」を参照してください。

- Visual Workstation をエンタープライズ環境で使用する際に便利なオプションソフトウェア、インターネットツールおよび評価版のインターネットオペラビリティツールを含む CD。この CD からソフトウェアをインストールする方法については、22 ページの「オプションアプリケーションの再インストール」を参照してください。
- Internet Explorer には、ライセンスされた Internet Explorer のキットが入っています。
- Visual Explorations には、インタラクティブな 3D システムツアー、3D グラフィックスのデモンストレーション、ビジュアルコンピューティングメディアギャラリー、およびインタラクティブな 3D グラフィックチュートリアルが入っています。この CD からソフトウェアをインストールする方法については、22 ページの「オプションアプリケーションの再インストール」を参照してください。

システムソフトウェアの再インストール

次のような場合には Visual Workstation のオペレーティングシステムを他のシステムソフトウェアコンポーネントとともに再インストールしなければなりません。

- プロセッサを追加して、Visual Workstation をアップグレードする場合。シングルプロセッサからマルチプロセッサにアップグレードする場合は、システムソフトウェアを再インストールして、新しいプロセッサを認識できるようにする必要があります。ただし、Visual Workstation にすでに2つ以上プロセッサが取り付けられている場合は、別のプロセッサを追加しても、システムソフトウェアを再インストールする必要はありません。
- 損傷したシステムディスクを修復または再フォーマットする場合。Visual Workstation のシステムディスクに障害があるか、またはシステムファイルが破壊された場合は、システムソフトウェアの一部またはすべてを再インストールする必要があります。この手順によって、システムファイルを修復したり、システムディスクを完全に再フォーマットできます。

再インストール処理は、次の5つの手順からなります。

1. 14 ページの「はじめに」は、再インストールの準備について説明しています。
2. 15 ページの「Windows NT の再インストール」では、Windows NT オペレーティングシステムと Silicon Graphics のシステムソフトウェアをリカバリーCD 1 から再インストールする方法について説明しています。
3. 20 ページの「ドライバと補助アプリケーションの再インストール」は、リカバリーCD 2 からソフトウェアを再インストールする方法について説明しています。
4. 22 ページの「オプションアプリケーションの再インストール」は、オプションのツールとアプリケーションを含むCDからソフトウェアを再インストールする方法について説明しています。
5. 23 ページの「その他のデータとアプリケーションのリストア」は、バックアップからユーザデータやアプリケーションをリストアする方法について説明しています。

各手順を終了してから、次に進んでください。

注： Visual Workstation にプロセッサを追加した後で、システムソフトウェアを再インストールする場合は、手順の4と5を省略してください。

はじめに

再インストールを始める前に、次の作業を行ってください。

- アクセス可能なパーティションにあるすべてのファイルをバックアップします。
- Silicon Graphics Visual Workstation の CD を用意します。必要なソフトウェアコンポーネントすべてを再インストールするには、リカバリー CD 1 とリカバリー CD 2 が必要です。また、オプションツールを含む CD からソフトウェアを再インストールすることもできます。

注： 正しい CD を用意したことを確認してください。Silicon Graphics の CD を使用する必要があります。他のコンピュータベンダまたは Microsoft から入手した Windows NT のシステムソフトウェアは、Silicon Graphics の Visual Workstation 上では動作しません。

- ご使用のネットワーク環境に合わせて Window NT を設定するために必要な情報については、5 ページと 6 ページを参照してください。
- ディスクの障害やシステムファイルの破損により Windows NT を再インストールする際に、システムディスクを再フォーマットをせずに修復を試みる場合には、最新のシステム修復ディスクが必要になります (8 ページを参照)。

Windows NT の再インストール

Windows NT の再インストールは、次の 2 つの段階に分かれています。

- 第 1 段階では、テキストベースのインターフェイスを使用し、Visual Workstation に関するハードウェア情報を収集して、システムファイルをコピーします。第 1 段階の最後に、セットアップユーティリティの指示に従って、Visual Workstation を再起動します。その後、自動的に第 2 段階に進みます。
- 第 2 段階では、セットアップウィザードのグラフィカルユーザインターフェイスを使用してサイト固有の情報を収集し、ご使用のネットワーク環境に合わせて Windows NT をカスタマイズします。

Silicon Graphics では、セットアッププログラムによって表示されるデフォルト値を使用することをおすすめします。

Windows NT をアップグレードまたは再インストールするには、次の手順に従ってください。

1. CD-ROM ドライブにリカバリー CD 1 を挿入します。
2. Visual Workstation を起動します。

3. 最初の起動メッセージがモニタに表示されてから 2、3 秒以内に、[Stop for Maintenance] ボタンをクリックするか、または < Esc > キーを押します(進行状況を示すバーによって経過時間がわかります)。次のようなメイン画面が表示されます。



4. [Install System Software]ボタンをクリックします。セットアップユーティリティが自動的に起動して、情報の入力を要求するプロンプトが続けて表示されます。
5. 大容量記憶装置の画面には、検出された大容量記憶装置がリストで表示されます。 < Enter > キーを押して、操作を続けてください。
6. [セットアップへようこそ] 画面では、既存の Windows NT のインストールを修復するか、または Windows NT を再インストールするかを決めます。
 - システム修復ディスクの情報を使用して Windows NT を修復する場合は、 < R > キーを押します。セットアッププログラムの指示に従って、Visual Workstation を再起動してください。
 - Windows NT を再インストールする場合は、 < Enter > キーを押します。その後、手順の 7 から 15 を実行してください。
7. ライセンス契約書の画面では、エンドユーザのライセンス契約書をお読みください。画面の下方向へスクロールするには、 < Page Down > キーを押します。ライセンス契約書に同意する場合は、 < F8 > キーを押します。
8. ハードウェアコンポーネントの画面には、Visual Workstation のハードウェアコンポーネントがリストで表示されます。 < Enter > キーを押して、操作を続けてください。

9. パーティションの確認の画面には、システムディスク上の既存のパーティションが表示されます。 < Enter > キーを押して、操作を続けてください。
10. パーティションの再フォーマットの画面には、システムディスク上のパーティションを再フォーマットするためのオプションが表示されます。
 - Visual Workstation にプロセッサを追加してから、システムソフトウェアを再インストールする場合は、既存のパーティションをそのまま残してください。 < Enter > キーを押して、操作を続けてください。
 - システムディスクを再フォーマットする場合は、この画面を使用し、25 ページの「システムディスクのパーティションを変更する」の中で推奨されているパーティション規則に従って、パーティションを再フォーマットしてください。
11. システムフォルダの画面には、WindowsNT のインストール先ディレクトリがリストで表示されます。デフォルト値は \WINNT です。
< Enter > キーを押して、操作を続けてください。
12. ハードディスクの破損確認の画面では、セットアップでシステムディスクのチェックを行うかどうかを選択します。 < Enter > キーを押して、ディスクチェックを実行してください。この処理には、システムディスクのサイズによって、数秒から数分かかります。

13. セットアップでは、CD からシステムディスクにファイルがコピーされます。コピー操作の実行中は、決してキーを押さず、インストールのこの段階が終了するまで待ってください。
14. < Enter > キーを押して、Visual Workstation を再起動します。Visual Workstation が再起動すると、セットアップウィザードが自動的に起動して、情報の入力を要求するプロンプトが続けて表示されます。
この手順は、初期設定手順に似ています（5 ページの「Windows NT の初めてのセットアップ」を参照してください）。
セットアップウィザードの指示に従います。ユーザ固有またはサイト固有の情報やオプションの入力を要求されるフィールド以外は、セットアップウィザードによって表示されるデフォルト値を使用してください。
必ずシステム修復ディスクを作成してください。
15. セットアップウィザードでは、システムソフトウェアがカスタマイズされて、ファイルがコピーされます。インストールが完了したら、ドライブからフロッピーディスクまたは CD を取り出し、[再起動] ボタンをクリックして Visual Workstation を再起動します。

ドライバと補助アプリケーションの再インストール

この手順では、Visual Workstation を正しく操作するために必要なドライバ、アプリケーションおよびオンラインマニュアルを再インストールします。

1. Visual Workstation に、Administrator アカウントでログインします。
2. CD-ROM ドライブにリカバリーCD 2 を挿入します。CD のセットアップユーティリティが自動的に起動します。
3. 画面の指示に従います。インストール手順の最後で、Visual Workstation を再起動するよう指示されます。CD-ROM ドライブにリカバリーCD 2 を入れたまま、Visual Workstation を再起動してください。
4. ログインダイアログボックスから、Administrator としてログインします。
5. [スタート] [設定] [コントロールパネル] を選択します。[コントロールパネル] ウィンドウで、[マルチメディア] アイコンをダブルクリックします。
6. [デバイス] タブを開いて、リストボックスの[オーディオデバイス]を選択し、[追加] ボタンをクリックします。

7. [オーディオデバイス] ダイアログボックスで、[一覧にない、または更新されたドライバ] (リスト内の最初のアイテム) を選択して、[OK] をクリックします。
8. [追加] ダイアログボックスで、リカバリー CD 2 の CrystalWare Audio Driver ディレクトリへのパスを入力して、[OK] をクリックします。このパスは、通常 *E:\Crystal* ですが、CD-ROM ドライブを示す文字は、システム内のパーティション数によって異なります。
9. ダイアログボックスが、CrystalWare オーディオドライバを追加するかどうかを確認します。[OK] をクリックしてください。
10. [CrystalWare Audio Driver] のコントロールパネルで、[WSS] タブをクリックして、IRQ の設定を 5 に変更します。
11. [OK] をクリックして、変更した設定を保存します。
12. Visual Workstation を再起動するよう要求されたら、CD-ROM ドライブからリカバリー CD 2 を取り出して、[再起動する] ボタンをクリックします。再起動することによって、新しく再インストールされたドライバが初期化されます。

オプションアプリケーションの再インストール

オプションのツールおよびアプリケーションを含む CD から、オプションのコンポーネントを以前にインストールしていた場合には、それらをここで再インストールします。

1. 使用している Visual Workstaion に、Administrator アカウントでログインします。
2. CD-ROM ドライブに該当する CD を挿入します。CD のインストールプログラムが自動的に起動します。
3. メイン画面で、インストールしたいオプションのコンポーネントを示すボタンをクリックし、セットアップウィザードによるソフトウェアのインストール指示に従ってください。
4. Visual Workstaion を再起動するよう指示されたら、CD-ROM ドライブから CD を取り出して、[再起動] ボタンをクリックします。再起動することによって、新しいソフトウェアが初期化されます。

その他のデータとアプリケーションのリストア

Silicon Graphics Visual Workstation CD からすべてのシステムソフトウェアとアプリケーションを再インストールした後、最初に作成したバックアップからユーザデータをリストアします。また、他のユーザアプリケーションを以前にインストールしていた場合は、この時点でそれらを再インストールします。

サービスパックのインストール

サービスパックには、Windows NT のシステムソフトウェアに対するパッチとアップデートが入っています。Visual Workstation の出荷時にインストールされているシステムソフトウェアには、このサービスパックが含まれます。周辺機器の増設などのハードウェア構成の変更を Visual Workstation に加える場合は、サービスパックを再適用して、新しいハードウェアに対して最新のドライバとパッチをインストールする必要があります。

注： Microsoft または他のコンピュータベンダのサービスパック CD を使用することはできません。サービスパックは、Silicon Graphics のリカバリー CD 1 から再インストールしてください。

サービスパックを再インストールするには、次の手順に従ってください。

1. CD-ROM ドライブにリカバリー CD 1 を挿入します。
2. [スタート] [ファイル名を指定して実行] を選択します。
3. [ファイル名を指定して実行] ダイアログ ボックスに、**x:\sp4\i386\Update\Update.exe** と入力します。この **x** は、CD-ROM ドライブのドライブ文字を示します。[OK] をクリックします。
4. 指示に従って、サービスパックからパッチとドライバをインストールします。

システムディスクのパーティションを変更する

システムディスクは、出荷時にすでに2つのパーティションに分割されています。Silicon Graphics では、Windows NT の設定時には、これらのデフォルトパーティションを使用することをおすすめします。

ドライブのパーティションを変更することはできますが、いくつか制限事項があります。その内容は以下の通りです。

1. 少なくとも2つのパーティションを作成する必要があります。
2. 2番目のパーティションのサイズは少なくとも20MBで、FATファイルシステムを使用してフォーマットしなければなりません。

このパーティションには、起動ファイルが格納されています。システムファームウェアでは、FATパーティション内の起動ファイルは認識して実行可能ですが、NTFSパーティション内の起動ファイルは認識も実行もできません。

3. 残りのパーティションは、必要に応じて任意のサイズにでき、FATまたはNTFSのどちらかのファイルシステムを使用できます。

システムディスクのパーティションは、出荷時点で多少異なる場合がありますが、これらは最小要件です。

注意： デフォルトのシステム構成では、オペレーティングシステムがドライブの最初のパーティションに、起動ファイルが 2 番目のパーティションに格納されているものと想定しています。これらのファイルを別のパーティションに移動した場合は、それに応じてシステムファームウェアを構成する必要があります。変更が正しく行われないと、Visual Workstation は正常に起動しません。詳細については、33 ページの「Startup Settings」を参照してください。

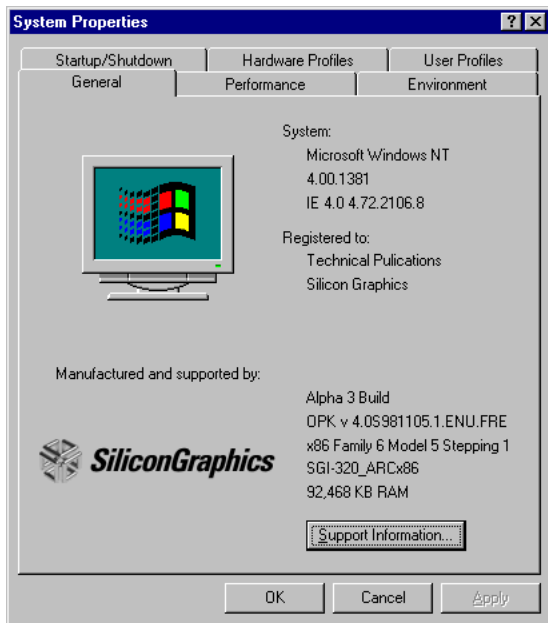
システムコントロールパネルを使用する

[システム] コントロールパネルには、Visual Workstation に関する情報が表示されます。この情報は、Silicon Graphics からテクニカルサポートを受ける場合に必要です。

[スタート] [設定] [コントロールパネル] を選択します。次に [コントロールパネル] ウィンドウの [システム] アイコンをダブルクリックします。デスクトップの [マイ コンピュータ] アイコンを右クリックして、[プロパティ] を選択しても、[システム] コントロールパネルを表示することができます。

[システム] コントロールパネルの [全般] タブには、使用している Windows NT のプロダクト ID 番号とともに、システムファームウェアと Windows NT Workstation のバージョン番号が表示されます。次の図は、このタブに表示される情報の例を示しています。

このマニュアルの 5 ページにある Windows プロダクト ID の欄に、使用しているシステムのプロダクト ID 番号を必ず記入してください。



[サポート情報] ボタンをクリックすると、Silicon Graphics のテクニカルサポートへの問い合わせ方法が表示されます。

スタートメニューを使用した **Silicon Graphics** の情報の表示

Windows NT のタスクバー上の [スタート] メニューを使って、ご使用の Visual Workstation に関する情報を表示できます。この情報を表示するには、[スタート] [Silicon Graphics] を選択します。[Silicon Graphics] メニューでは、次のいずれかのオプションを選択できます。

- [ハードウェアの概要] では、ご使用の Visual Workstation のハードウェアと仕様に関する概要が表示されます。
- [オンラインブック] では、『オーナーズガイド』と『オーディオ/ビデオユーザーズガイド』の内容が表示されます。
- [サポート] では、Silicon Graphics のテクニカルサポートへの問い合わせ方法が表示されます。
- [リリースノート] では、ご使用の Visual Workstation のハードウェアまたはソフトウェアに適用されるリリースノートが表示されます。
- [ビジュアルデモ] では、Silicon Graphics Visual Workstation CD セットに含まれるサードパーティ製ソフトウェア、またはシステムディスクにインストールされたデモンストレーションソフトウェアを使用することができます。

システムファームウェアオプションの設定

システムファームウェアではグラフィカルユーザインターフェイスにより、システムオプションを設定することができます。

システムファームウェアのユーザインターフェイスを使用するには、次の手順に従ってください。

1. Visual Workstation を起動します。
2. システムファームウェアの起動画面が表示されたら、5 秒以内に、[Stop for Maintenance] ボタンをクリックするか、または < Esc > キーを押します (進行状況を示すバーによって、経過時間がわかります)。

次のようなメイン画面が表示されます。



メイン画面には、次のボタンがあります。

- [Start System]を選択すると、現在の設定を使用してワークステーションを起動します。
- [Startup Settings]を選択すると、起動設定オプションを参照、または変更するための画面が表示されます。使用可能なオプションについては、33 ページの「Startup Settings」を参照してください。
- [System Settings]を選択すると、システム設定を参照、または変更するための画面が表示されます。使用可能な設定については、37 ページの「System Settings」を参照してください。
- [Install System Software]を選択すると、CD からシステムソフトウェアをインストールできます。手順については、12 ページの「システムソフトウェアの再インストール」を参照してください。
- [Run System Utilities]を選択すると、システムファームウェアをアップグレードしたり、システムユーティリティを呼び出すための画面が表示されます。この画面は、上級ユーザだけを対象としています。
- [Hardware Inventory]を選択すると、ファームウェアによって検出される Visual Workstation のハードウェアコンポーネントすべてのリストが表示されます。[Up] および [Down] の各ボタンを使用すると、リストをスクロールできます。

Startup Settings

注意： この画面は、上級ユーザだけを対象としています。この画面で不適切な設定を行うと、Visual Workstation が正常に起動しなくなる可能性があります。

[Startup Settings] 画面には、2 つのメイン領域といくつかのコントロールボタンがあります。次の図は、この画面の例を示しています。

[Boot Selection] には、起動構成が表示されます。システムの出荷時には初期設定としていくつかの構成が保存されています。

上矢印および下矢印の各ボタンを使用して、表示または変更する構成を選択してください。



Startup Settings

Boot Selection

WinNT 4.0 Default
WinNT 4.0 [Base Video]
CD Install



Default

New

Copy

Delete

Load Identifier

WinNT 4.0 Default

OSLoader

\os\winnt40\arcldr.exe

OSLoad Filename

\WINNT

OSLoad Partition

IDE 0 Disk 0 Partition 1

SystemPartition

IDE 0 Disk 0 Partition 2

OSLoad Options

Save & Exit

Cancel

選択した構成に関する次の情報が表示されます。

- [Load Identifier] テキストボックスには、選択した構成を説明するテキスト文字列を入力します。
- [OS Loader] テキストボックスには、現在の構成によって使用される起動ファイル (*arcldr.exe* および *hal.dll*) へのファイルシステムパスを入力します。
- [OS Load Filename] テキストボックスには、オペレーティングシステムを含むディレクトリの名前を入力します。
- [OS Load Partition] スクロールリストボックスには、システムファームウェアによって検出されたすべてのパーティションが表示されます。オペレーティングシステムのカーネルを含むパーティション (デフォルトでは、Partition 1) を選択してください。
- [System Partition] スクロールリストボックスには、システムファームウェアによって検出されたすべてのパーティションが表示されます。起動ファイル *arcldr.exe* および *hal.dll* を含むパーティション (デフォルトでは、Partition 2) を選択してください。
- [OS Load Options] テキストボックスには、オペレーティングシステムに渡されるフラグを指定します。デフォルト値は、フラグなしです。

[Default] ボタンは、選択した構成をリストの一番上に移動します。リスト内の最初の構成は、Visual Workstation の起動時に使用されます。

[New] ボタンは、新しい構成を作成します。構成名とすべての値を指定する必要があります。

[Copy] ボタンは、選択した構成のコピーを作成します。新しい構成の名前入力し、必要に応じて値を変更してください。

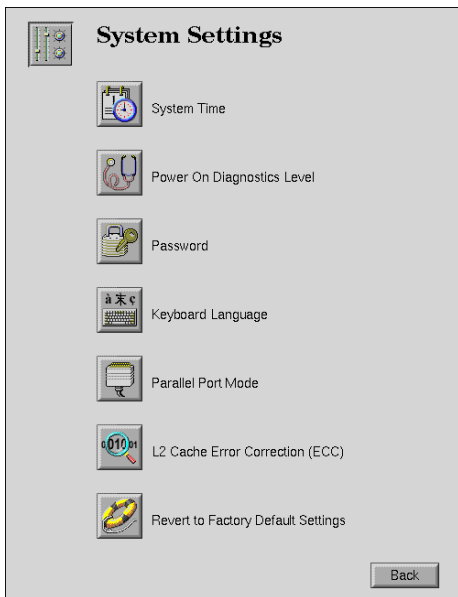
[Delete] ボタンは、選択した構成を削除します。

[Save & Exit] ボタンは、加えられたすべての変更を保存して、メイン画面に戻ります。

[Cancel] ボタンは、加えられたすべての変更を破棄して、メイン画面に戻ります。

System Settings

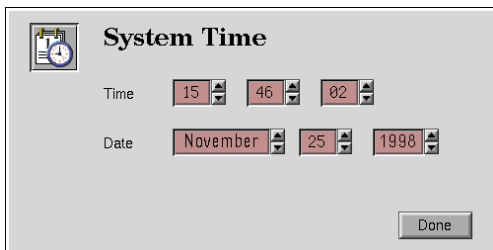
[System Settings] は、システムファームウェアのオプションを設定するために使用します。



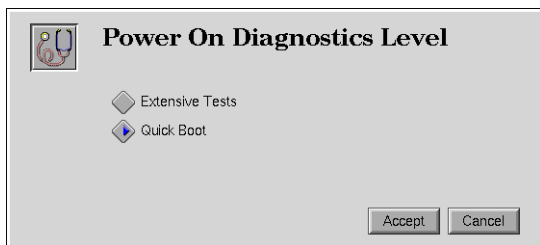
この画面には、次の7つのボタンがあります。

1. [System Time] ボタンをクリックすると、システムクロックを設定する画面が表示されます。これは、Windows NT のコントロールパネルから [日付と時刻] を選択して時刻の設定をするのと同じです。

システムクロックの設定が必要となるのは、非常に特殊な状況に限られます。



2. [Power On Diagnostics Level] ボタンをクリックすると、起動時に実行される電源投入時の自己診断テスト (POST) のレベルを指定する画面が表示されます。この画面には、[Extensive Tests] と [Quick Boot] (デフォルト) の 2 つのオプションがあります。



[Extensive Test] モードでは、起動シーケンスにおいて、[Quick Boot] モードで実行されるテストに加えて、メモリがテストされます。これにより、システムの起動時に、搭載されているメモリ 1MB につきおよそ 0.1 秒かかります。

起動シーケンスが正常に終了しない場合には、システムは、[Quick Boot] モードから [Extensive Test] モードに自動的に切り替わります。この場合は、システムを手動で [Quick Boot] モードに戻す必要があります。

3. [Password] ボタンをクリックすると、システムファームウェアに対するパスワード保護を設定する画面が表示されます。この画面では、次のオプションを使用できます。
- [No Password] を選択すると、ファームウェアの設定変更およびシステム起動時のパスワード入力が不要になります。
 - [Password for PROM Setup] を選択すると、ファームウェアの設定変更に必要なパスワードになります。
 - [Password for PROM Setup and Boot] を選択すると、ファームウェアの設定変更およびシステム起動時にパスワード入力が必要になります。



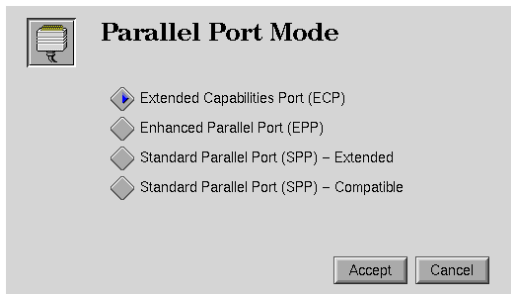
注： パスワードがすでに設定されている場合でも、パスワードジャンパを使用して新しいパスワードを指定することができます。詳細については、『オーナーズガイド』を参照してください。

4. [Keyboard Language] ボタンをクリックすると、使用するキーボードの言語を指定する画面が表示されます。

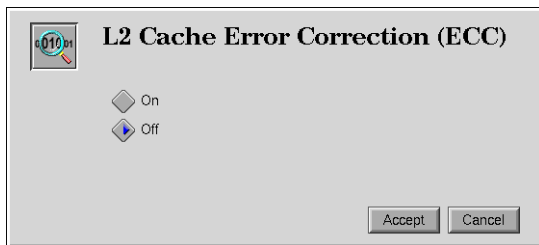


注： この設定は、Windows NT ではなく、システムファームウェアだけに適用されます。Windows NT からは、コントロールパネルの [キーボード] を選択して、キーボードの言語を変更できます ([スタート] [設定] [コントロール パネル] [キーボード] を選択します)。

5. [Parallel Port Mode] ボタンをクリックすると、ワークステーションの平行ポートで使用するモードを選択する画面が表示されます。[ECP](デフォルト)、[EPP]、[SPP-Extended]、および [SPP-Compatible] の各モードを選択できます。接続するデバイスに特に指定がない場合は、ECP モードを使用します。



6. [L2 Cache Error Correction] ボタンをクリックすると、L2 キャッシュメモリに対するエラー訂正をオンまたはオフ（デフォルト）に設定する画面が表示されます。L2 キャッシュエラー訂正をオフに設定した状態で Visual Workstation を動作させると、パフォーマンスが多少向上します。L2 キャッシュエラー訂正をオンにした状態で動作させると、安定性が向上します。



7. [Revert to Factory Default Settings] ボタンをクリックすると、すべてのシステム設定が、出荷時のデフォルト値にリセットされます。既存の設定を上書きするかどうかを確認するダイアログボックスが表示されます。

索引

A

Administrator アカウント 8, 20, 22

C

[Cancel]ボタン 36

certificate of authenticity 5

chkdsk 18

[Copy]ボタン 36

CrystalWare オーディオドライバ 21

D

[Default]ボタン 36

[Delete]ボタン 36

DHCP プロトコル

DHCP 6

DNS 6

[Down]ボタン 32

H

[Hardware Inventory]ボタン 32

I

[Install System Software]
ボタン 17, 32

Internet Explorer 7

IP アドレス 6

IRQ、設定 21

K

[Keyboard Language]画面 41

L

[L2 Cache Error Correction]画面 43

N

[New]ボタン 36

P

[Parallel Port Mode]画面 42

[Password]画面 40

[Power On Diagnostic Level]
画面 39

R

rdisk コマンド 8

[Revert to Factory Default Settings]
ボタン 43

[Run System Utilities] ボタン 32

S

[Save & Exit] ボタン 36

[Start System] ボタン 32

[Startup Settings] 画面 33

[Startup Settings] ボタン 32

[Stop for Maintenance] ボタン 30

[System Settings] 画面 37

[System Settings] ボタン 32

[System Time] 画面 38

T

TCP/IP 6

U

[Up] ボタン 32

V

Visual Explorations CD 11

W

Windows NT

サービスパック 24

セットアップウィザード 7

プロダクト ID 5, 27

Windows NT の

初めてのセットアップ 5

[Windows NT へようこそ] 画面 8

WINS 6

WINX (Windows インターネット
ネームサービス) 6

あ

アドレス、IP 6

い

インストール

Internet Explorer 7

Windows NT 1

サービスパック 24

接続 1

お

[オーディオデバイス]

ダイアログ ボックス 21

オーディオドライバ 21
オプションアプリケーション 22
オプション、ファームウェア 30
オンラインブック 29

か

画面

[Keyboard Language] 41
[L2 Cache Error Correction] 43
[Parallel Port Mode] 42
[Password] 40
[Power On Diagnostic Level] 39
[Startup Settings] 33
[System Settings] 37
[System Time] 38
[Windows NT へようこそ] 8
[キーボード設定] 7
システムフォルダ 18
[セットアップへようこそ] 17
大容量記憶装置 17
[地域設定] 7
ハードディスクの破損確認 18
[日付と時刻] 7
ライセンス契約 17

き

キーボード設定 41
[キーボード設定] 画面 7
起動モード 39

く

クロック、システム 38

け

言語、キーボード 41

こ

コマンド、rdisk 8
コントロールパネル
CrystalWare
オーディオドライバ 21
マルチメディア 20
コントロールパネル、システム 27

さ

サービスパック、インストール 24
再インストール
オプションアプリケーション 22
ドライバ 20
必要なアプリケーション 20

[再起動]ボタン 21, 22

サブネットマスク 6

サポート

テクニカルサポート 2

[サポート情報]ボタン 28

し

システム

クロック 38

コントロールパネル 27

ディスク 25

ファームウェア 30

システム修復ディスク 6, 8, 14, 19

システム修復 17

システムソフトウェアの

再インストール 12

システムディスクの

パーティションの変更 25

システムフォルダの画面 18

[修復ディスクユーティリティ]

ダイアログボックス 8

診断レベル 39

す

[スタート]メニュー 29

せ

設定

電源投入診断レベル 39

[Password] 40

オーディオデバイスの IRQ 21

セットアップ、最初の 5

セットアップウィザード 7

[セットアップへようこそ]画面 17

そ

ソフトウェアの再インストール 12

損傷したディスクの

再フォーマット 18

た

ダイアログボックス

[オーディオデバイス] 21

[修復ディスクユーティリティ] 8

ログイン 8, 20

大容量記憶装置の画面 17

ち

[地域設定]画面 7

つ

[追加]ボタン 20

て

ディスク

- 再フォーマット 18
- システム 25
- システム修復 6, 8, 14, 19
- チェック 18

手順

- Silicon Graphics の情報の表示 29
- オプションアプリケーションの再インストール 22
- オンラインマニュアルの表示 29
- サービスパックのインストール 24
- 最初のセットアップ 5
- システムソフトウェアの再インストール 12
- システムファームウェアオプションの構成 30
- ドライバの再インストール 20
- バージョン番号の確認 27
- [ハードウェアの概要]の表示 29
- 必要なアプリケーションの再インストール 20
- リリースノートの表示 29

と

- ドメイン名サービス 6
- ドライバ、オーディオ 21

は

- バージョン番号 27
- [ハードウェアの概要] 29
- ハードディスクの破損確認の画面 18

ひ

- [日付と時刻]画面 7
- 表示
 - Silicon Graphics の情報 29
 - オンラインブック 29
 - [ハードウェアの概要] 29
 - リリースノート 29

ふ

- ファームウェアオプション 30
- システム 30
- ブック
 - オンライン 29
- プロセッサのアップグレード 12
- プロセッサの追加 12

プロダクト ID 5, 27

プロトコル

DNS 6

NetBEUI 5

NWLink 5

TCP/IP 5, 6

WINS 6

ほ

ボタン

[Cancel] 36

[Copy] 36

[Default] 36

[Delete] 36

[Down] 32

[Hardware Inventory] 32

[Install System Software] 17, 32

[L2 Cache Error Correction] 43

[New] 36

[Parallel Port Mode] 42

[Password] 40

[Power On Diagnostic Level] 39

[Run System Utilities] 32

[Save & Exit] 36

[Start System] 32

[Startup Settings] 32

[Stop for Maintenance] 30

[System Settings] 32

[System Time] 38

[Up] 32

[再起動] 21, 22

[サポート情報] 28

[追加] 20

矢印 33

ま

マルチメディア

コントロールパネル 20

も

モード、パラレルポート 42

や

矢印ボタン 33

ゆ

ユーザデータのリストア 23

ら

ライセンス契約の画面 17

り

リカバリーCD 10, 13, 15, 20, 21, 24

リリースノート 29

ろ

ログインダイアログボックス 8, 20

